

1/30 外国人を対象に
日本料理教室を開催



調理実習している参加者たち

小松島市国際交流協会（村上治郎会長）が、市内とその周辺で暮らす外国人を対象に1月30日、市総合福祉センターで日本料理教室を開催しました。

この教室は、「子どものお弁当に入れるオニギリが上手につくれない」「かわいいキャラクター弁当をつくりたい。」といった外国人の母親からの相談などに応えたもので、今回で2回目の開催。

今開催の料理教室では中国、

インドネシア、コロンビア、フィリピン、ロシア出身の方が12名参加し、筑前煮や巾着たまご、ほうれん草のごま和え作りに挑戦。「レンコンは1節」「こんにゃくは1枚」といった材料の数え方から調味料や食材の現物を見せながらの説明などコミュニケーションを重視した実習で、参加者たちは楽しそうに学んでいました。

小松島市国際交流協会では、文化庁の「生活者としての外国人のための日本語教育事業」の委託を受けて日本語教室などを開催しています。

1/30 健康フェスティバルで
多彩なスポーツを満喫

みなと小松島スポーツクラブ（加賀谷利彦代表）が主催した、みなと小松島健康フェスティバルが1月30日、市立体育館で盛況に開催されました。

この健康フェスティバルは、スポーツを通じて市民の健康増進を図ることを目的とし、今回が初めての開催。

イベントとしては、小学生を対象としたフリスビーを使ったドッチボールなどが行われ、80名が参加し熱戦を繰り広げました。

参加した鈴木千尋さん（新開小6年）は、「フリスビーで投げるのが難しかったけど、楽しかった。」と話し、初めて競技するスポーツながらも、懸命にフリスビーを追いかけました。

また、その他にもスポーツチヤンバラや輪投げ、皿まわし、けん玉、体脂肪・血圧測定、健康づくりコーナーなど多彩なイベントが催され、訪れた家族連れらで終日賑わいました。



フリスビーを使ったドッチボール

2/16 いつまでもお元気で
関本ハナコさん満百歳を祝う

横須町の関本ハナコさんが2月16日、満百歳の誕生日を迎えられ、関本さんの自宅を稲田市長や市職員らが訪問。祝い状を贈り長寿を祝いました。

関本さんは明治44年生まれ。食事も毎朝しっかり食べられ、パンや牛乳、果物などを摂られているとのことでお元気そのもの。病院も月に1回行くくらいです。

ひ孫から「ハナコばあちゃん」と親しまれ、この日も家族から満百歳を祝福されていました。



元気に100歳を迎えられた関本さん（右）

2/20 ゆかりの史跡を巡る
第24回義経夢想祭



オリエンテーリングを楽しむ参加者ら

芝田婦人会などが主催する第24回義経夢想祭が2月20日、芝生町の旗山周辺で行われ、家族連れら約760人が、義経ドリムロードでオリエンテーリングを満喫しました。

オリエンテーリングは、約800年前に平家追討のために田野町勢合に上陸したとされる源義経ゆかりの史跡を巡るもの。義経、弁慶、静御前に扮した地元の方から先頭に早春の景色を楽しむながら散策しました。